

## 日本リハビリテーション医学会発表

2018.  
12  
南丹リハビリ通信

2018年11月2日(金)～4日(日)に仙台で開催された第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会で京都中部総合医療センターリハビリテーション科の川辺康司(理学療法士)と恩村直人(作業療法士)が発表のため参加しました。仙台は遠いイメージでしたが、新函館北斗行のはやぶさ号で東京駅から1時間30分ほどでした。東北は寒いと思いコートを用意していましたが晴天で暖かかったです。仙台駅には牛タン通りと呼ばれる場所がありましたが、誘惑に負けず学会会場に直行しました。そして川辺は「回復期リハビリテーション病棟における実績指数向上にむけた検討」、恩村は「橈骨遠位端骨折のAO分類C3型の治療成績についての検討」について5分間の口述発表を行いました。発表後の2分間の質疑応答は活発に行われ、それだけ発表内容に関心を持ってもらえたと思えます。これからも医療の質向上のため、研究・学会発表にも尽力していこうと思えます。



## 野球検診

2018年11月11日当院にて毎年恒例の南丹、亀岡、京丹波合同野球肘検診を実施しました。八木、京丹波、亀岡地区の小中学生約450人が参加しました。京都市、舞鶴市近隣の施設から医師や理学療法士・作業療法士が集まり、9時から16時まで理学所見・超音波検査・ストレッチ指導を実施しました。故障の早期発見と予防のためのストレッチの重要性について再認識されたことと思われます。将来、この中からアメリカや日本のプロ野球チームで活躍する選手が現れることを期待しています。



## 創刊号のごあいさつ

この度、京都中部総合医療センター、リハビリテーション科では、季刊誌として「南丹リハビリ通信」を発刊することとなりました。リハビリテーション科の情報をわかりやすく発信していきたいと考えています。今後、地域のみなさまの健康に役立つ情報などを発信できるよう、紙面の充実に取り組んでいきたいと考えています。

発行 京都中部総合医療センター  
リハビリテーション科

Mail [reha@kyoto-chubumcdc.or.jp](mailto:reha@kyoto-chubumcdc.or.jp)

Tel 0771-42-2510